

# オーストラリア語学研修報告

今年度も夏休みの期間を利用して、8月1日から17日までの約2週間、オーストラリア・メルボルンにある Ivanhoe Grammar School を訪れ、現地の授業や生活を体験してきました。今年度は6名の生徒が選抜され参加をし、ホストファミリーや現地校との交流の中で、多くの経験を経て、そして個々で掲げた目標を達成しようと一生懸命取り組みました。

## 〈現地の紹介〉

### ☆メルボルン



メルボルンはとても寒く、防寒具が必要でした。  
町並みはヨーロッパ風の建物が多くみられ、特にフリンドースストリート駅(写真左)は大きく、歴史を感じさせました。  
街中はトラム(写真右)が走っており、移動にとっても便利でした。

### ☆Ivanhoe Grammar School



Ivanhoe Grammar School は住宅街の中にある学校で、いろんな施設があり、校舎も新しかったです。グラウンドも芝生で、オーストラリアンフットボールのポールも立っていました。現地の多くの生徒は休み時間に中庭(写真右)で過ごしていました。

### ☆現地の授業



Ivanhoe の授業は、大学の授業のように、授業ごとに生徒が教室を移動します。Ivanhoe の生徒は、一人一台パソコンを持っており、レポート提出などに使用していました。本校生徒もともに授業を受け、英語の授業に苦戦していましたが、数学は公式などを手加かりに理解していました。

### ☆ホストファミリーや先生



2週間受け入れてくれたバディー(ホストの生徒)は日本語を学んでおり、本校生徒もバディーも語学力の向上に切磋琢磨していました。  
受け入れてくれた学校の先生(写真右)も、いろいろと助けてくれて、安心して2週間を過ごすことができました。

## 〈この研修に参加してみて 生徒の感想〉

- ・日本の文化について尋ねられたとき、分からないことがあり、日本人なのに日本のことをあまり知らなくて困ってしまいました。海外の方とコミュニケーションを取るとき、ただただ外国の文化を学び受け入れるだけでなく、自分の国を知った上で比べ、良いところを見つけていくことが大切だと思いました。
- ・会話で、相手が何を言っているのか分からないことや、言葉として表現できなかったことから、自分の覚えている単語数が少なすぎることを改めて感じました。習っていても頭に入っていない単語もたくさんあり、とても悔しかったです。これからももっと英語の勉強に力を入れていきたいと思いました。
- ・バディーが一生懸命日本語の勉強をしていたので、私も一生懸命勉強して、お互いに刺激しあえる関係が続くと良いと思いました。
- ・今回の研修を通して、やはり私は言語や異文化を深く学びたいと思いました。それには絶対に英語が役立つと思うので、基礎から着実にコツコツと勉強していきたいと思います。